



中国庭園・燕趙園に完成した孔子（左）と孟子の像＝東郷町の燕趙園集粹館前広場

孔子・孟子像を設置

燕趙園 10日から一般公開

東郷町引地の中国庭園・燕趙園に中国の思想家、儒学の祖といわれる孔子と孟子の銅像が設置された。島根県の企業家が日中友好の発展のために、鳥取県に寄付したもので、燕趙園では「観光の目玉が一つ増え、新しい観光スポットになる」とを期待している。一般公開は十日から。

小松電機産業（松江市乃木福富町、小松昭夫社長）が設立した財団法人・人間自然科学研究所が、中国山東省で制作。鳥取県に寄付したいとの申し入れがあり、中国河北省

との友好締結五周年を記念して建てられた燕趙園に置くことにした。

銅像は燕趙園内の集粹館前広場に設置。孔子像は高さ二・三メートル、重さ四百三十キ。孟子像は高さ二・三五メートル、重さ三百八十キ。台座（七十三キ）の上に載っている。

十日午後一時半から除幕式が行われ、一般公開される。同二時十五分からチャイニーズドラゴン新聞編集主幹の孔健氏の記念講演も行われる。